

第5回 吉野町における一般廃棄物処理のあり方検討委員会 会議録

日 時 令和2年12月25日（金）午後2時2分～午後2時33分

場 所 吉野町中央公民館 5階 閲覧室

出席者（委員9名）

島 秀次（上市地区）、生駒 勝（吉野地区）、上田秀幸（中荘地区）、
小松 正（国栖地区）、森本和雄（龍門地区）、藤裏 勲（中竜門地区）、
里田良子（公募委員）、菊谷久美（公募委員）、荒井喜久雄（学識経験者）

（事務局6名）

副町長 和田圭史、暮らし環境整備課長 紺田正俊、同主幹 乾 悌、
同補佐 岡本弘文、同参与 奥田昌弘、同任用職員 浦西正純

司会進行 あいさつ

事務局： ただ今より、第5回吉野町における一般廃棄物処理のあり方検討委員会
を開会させていただきます。

本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。委員の皆さん方には、6月に委員の委嘱をさせていただいてから、半年余り4回の検討委員会で熱心かつ慎重な検討、並びに11月11日には施設の見学を熱心に視察していただき感謝申し上げます。検討していただいた内容を、本日町長に提言していただきます。それでは、次第に基づきまして進めさせていただきます。最初に委員長から町長に吉野町における一般廃棄物処理のあり方についての提言書を手渡していただきます。その後、委員長と町長からご挨拶いただきます。それでは、委員長並びに委員の皆さん、町長、前にお並びください。

議 事

1. 提言書の提出

令和2年12月25日

吉野町長 中井章太 殿

吉野町における一般廃棄物処理のあり方検討委員会委員長、荒井喜久雄
提言書

令和2年6月11日付けで、本委員会に対して意見を求められた事項について、下記のとおり提言します。

記

1. 可燃ごみは、令和6年3月31日まで、吉野広域行政組合を通じて櫃原市への処理委託を継続する。
2. 可燃ごみ以外のごみは、吉野町単独処理へ移行後のごみ処理について、現状処理を一部変更、もしくは簡略化して現施設を活用し処理できるよう検討を進める。
3. 国・県のごみ処理の広域化やごみ処理施設の集約化等の方針を踏まえ、将来的には近隣市町村との新たな広域化を目指すため、今後、奈良県や関係市町村に対して広域化の働きかけを行っていく。
4. 櫃原市への継続委託期間経過後は、吉野町の方針を具体化することができるまでの暫定的な措置として、他の自治体や組合等への焼却委託の交渉を最優先に進めると共に、民間事業者への処理委託の活用を検討する。
5. 他の自治体あるいは民間事業者に搬出する際には、輸送効率の向上と地元への配慮のため中継施設（積替え施設）を設置し、その対応にあたる。
6. 吉野町の資源循環を進め循環型社会の構築に向けて、ごみ減量化施策を策定し町民に協力を呼び掛けていく。

なお、本提言は実施にあたって関係機関等との協議・調整も必要であることから、具体的な検討になるべく早く着手されたい。

また、町は今回検討委員会を設置するに至った経緯を踏まえ、住民各位に適切な情報を提供するとともに、住民の意向を反映したごみ処理行政の実現に努められたい。

以上

事務局： ありがとうございます。では、委員長からご挨拶をいただきます。

委員長： 皆さん今日は。コロナで何かと大変な時ではございますが、本年の6月から約半年かけて検討してまいりました提言書が纏まり町長さんに提出する運びとなりました。委員の皆さんのご熱心なご討議ご検討に深く感謝するしだいでございます。取り纏めにあたって色々考えました事は、ごみ処理が停滞して町民の皆様の日々の生活に影響を与えない、そういう方策を優先して検討してまいりました。今後この提言書にそって具体的な施策を決められて吉野町の公衆衛生の確保、地域環境の保全に努められる事をお願いするものでございます。どうもありがとうございました。

事務局： 委員長さま、ありがとうございました。
続いて、中井町長から挨拶をお願いします。

町 長： 皆さん今日は。第5回のあり方検討委員会にご出席を賜りありがとうございます。6月11日に委嘱状をお渡しさせていただき、4回にわたり吉野町のごみ処理施策について、視察等を含め、色々意見交換をしていただきました。そして本日委員長から提言書をいただきました。本当に色々な角度からそして今、吉野町の置かれている環境、そして広域化に向けての国の動き、県の動き、そして近隣自治体の動きも含めながらの提案であるかと、非常に私自身も重く受け止めています。

先ほど委員長からお話のありましたとおり、ごみ処理を停滞させない、町民の皆さんに安心できる持続可能なごみ処理施策をしっかりと、この提言を基に打ち出してまいりたいと思っております。振り返りますと、さくら広域環境衛生組合からの脱退、そして私自身が2月から町政運営を預からせていただく中で、近隣自治体首長さん、そして県の首長さん方と色々な交流を持たせていただいております。これから20年、30年そういったスパンの中で、国のごみ処理、そしてまた県、地域自治体のごみ処理施策というのは環境省からも通達であるとおりのやはり大規模集約化の流れというものは、皆さん方のご提案の中にあるとおりでございます。私自身はし

っかりと国の流れ、そしてまたエネルギー政策、環境政策、そういった様々な観点の中から吉野町に相応したごみ処理施策を打ち出し町民の皆さんにしっかりとお伝えさせていただきたいと思っております。そして何よりこのごみ処理施策というのは町民の皆さんに色んな意味で身近な問題でございます。ここからの流れもしっかりと町民の皆さんに様々な情報伝達ツールを通してお伝えさせていただいて進めてまいりたいと思っておりますので今回の第5回検討委員会で検討委員会そのものは終了致しますが、皆さん方のお力添えも賜りながら吉野町のごみ処理施策を進めてまいりたいと思っておりますので、本日のお礼と、そして引き続きのご指導、ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

事務局： ありがとうございます。

委員長： 事務局、少しよろしいでしょうか。委員の皆さまには、改めて、6月からの検討委員会、また施設視察を含めてのご尽力をいただきました。その事について深く感謝申し上げます。こうして集まるのも最後ですから、お一人ずつ、これまでの感想や、町長さんへ伝えたい事などをお話いただけたらと思っています。いかがでしょうか。

事務局： 委員長様よりご提案がありました。この機会でございますので皆さまから、ご意見等いただけたらと思っておりますのでよろしく申し上げます。提言書の最後に皆さまの名簿がございます。その順番に添ってご意見等いただけたらと思っております。よろしく申し上げます。

副委員長： 皆さん今日は。これまで4回のこの委員会に、地区から選出された委員の方、また一般公募により率先してこの委員になられた方、皆さんからは活発な意見をいただきました。私も及ばずながら副委員長という要職を預らせていただき、委員長の元で私なりの考えも述べさせて貰う事が出来ました。

ごみというのは先ほど町長も申されましたが、生活していく上で密着し

たもので、毎日、ごみが出ない日は無いわけでございます。この最初の委員会で、期限が来ているという事で非常に切迫感を感じました。その期限は迫っているという中で町当局が粘り強く交渉していただいたおかげで、樫原市への搬入に少し余裕が出来たという事が非常に印象に残っています。委員の皆さんでこの提言書をまとめていただいた訳ですが、非常に中身の濃い議論を重ねて、私自身は先進地視察を失礼させていただいて申し訳なかったのですが、非常に意義のある委員会であったと思っています。

今後、町長も申されましたが、住民の皆さんと町とが連絡を密にするという形を継続して行って下さったらありがたいと思っています。以上でございます。

委 員： 皆さん今日は。本日をもって提言書を町長に提出できた事は、誠に喜ばしい事と思います。中井町長におかれましては、この提言書を素早く履行して、一般廃棄物処理を検討していただきたいと思います。委員長をはじめ、皆さんご苦勞様でございました。私もこのあり方検討委員会に参加させていただきまして、大変勉強になりましたし、これからのごみ処理のあり方を改めて深く考えさせていただきました。三重県の処理施設の見学もさせていただいて、今、正にどういう状況にあるのか、こういう施設を目の当たりにして改めて考えさせられました。そして、町民自身が今のようなごみの出し方ではなく、個人個人が、1 t 何円と言う現実的な事に意識を持って、一人ひとりがごみの出し方やきっちりした水切りの方法など、意識改革をして、少しでもごみの出す量を減らし、安く処理費用を抑えていくという事をまずは始め、町民の方にPRすることかと思っています。

第5回の検討委員会となりましたが、終わりましたも一般廃棄物処理施設のこの問題に今後も真摯に考えていきたいと思っています。今までどうもありがとうございました。

委 員： どうぞよろしく申し上げます。5回にわたり会議を進めてきた中で、皆さんの意見に、すごく考えさせられる事をいっぱい言っていただき、すごく勉強になりました。私は廃棄物処理に詳しくなく、本当に勉強になった

と思います。これからは前向きにごみ処理施策に関して考えていただけるように努力していただきたいと思います。よろしくお願いします。

委員： 失礼致します。この委員会に参加させていただきまして、当面の吉野町の方向性としてこの提言書は良いものではないかと考えています。しかし、これは一旦の形では無いかと思います。これから先、5年先、10年先はこれで、最終的には民間委託というような形になるかもしれませんが、奈良県が広域化になって、一つか二つになった時、それが20年先か30年先かどうなるか分かりませんが、現在処理費用に1億数千万円が支払われている。人口が激減し、高齢化しており、負担が膨らむ状況の中で、これから先、町民の負担が軽減できるというような方法を見出していきたいと思います。この委員会は検討時間が少なくて無理があったと思いますが、色々な賢い方おられますので、民間事業者の誘致というのも一つの手ではないかと考えます。色々な条件が出たり、反対意見も色々出てくるかと思いますが、その辺を模索してこれから10年、20年先を見据えて吉野町として進んでいただきたいと願っております。

委員： この提言書を基に吉野町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）を策定し3月議会に提出していただくと聞いております。私は、第1回から第4回まで十分に発言させていただきました。任期は委嘱状には来年の3月末までとありますので、これからも町長に提言させていただきたいと思えます。言いたい事はいっぱいありますが、以上でお礼申し上げます。ありがとうございました。

委員： 失礼致します。初めに事務局に訂正をお願いします。前回委員会の会議録2ページの真ん中で提言書が提案書になっているようです。訂正をお願いします。

私は、本日まで現地見学を含めて全て参加させていただきました。今後の吉野町のごみ処理について良い勉強になったと感謝申し上げます。これも委員長をはじめ8名の委員さん、事務局から素晴らしいアドバイスや

ご意見をいただき参考になった事は非常に感謝しております。この提言書については何ら申し上げることはなく、町長にはすぐに実行に移していただきたいと思っております。

これからの事でございますが、令和6年3月末までは榎原市さんに可燃ごみはお世話になるところですが、4月以降どのような結果になっていくのか、どのような経過をたどっていくのかを、委員としての席は今回でなくなりませんが、心配する一つかと自分は思っています。そういう意味で、今後の動向について何かの形で報告していただきたいとお願いいたします。

我々も地区代表でございます。各地区の区長さんや自治会長さんにもその旨の連絡をされると思っております。是非とも今後の経過についての連絡をいただきたいと思っております。そして先程からもお話がありましたが、出来る限りごみの減量化に目を向ける所でございます。最初にいただいた資料の中にもありますとおりコンポストの普及をしていただけたらどうかと思っております。早速にご検討をいただき、各戸に配付できるような対策もとっていただけたらと思っております。以上でございます。

委員： 失礼します。私はこの委員会に、公募に応募して参加させていただきました。何の肩書もないただ一人の主婦の意見を反映する場所をいただけたこと大変感謝しております。参加した結果といたしますか、感想といたしますか、信頼に足る事務局のやり方等を、感じております。今後、どのようなようになっていくにしても信頼して、協力させていただきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。ありがとうございました。

委員： 皆さん、今日は。私も公募で出席させていただいて、第一印象は、家に帰って、毎日どうすればごみは減るのだろう、これは捨てるでも良いのだろうか。そんな事を毎日考えているのですが、案外減らせると思えるものは無いなど、ごみを減らすのは大変な意識を持たなければというのが第一印象でした。

町長に提言させていただいたように、実行して貰えるように、一つ不安は令和6年の4月以降、県外に行くのか、引き続いて榎原市にお世話にな

るのか、その辺もはっきりとは分かりませんが、出来れば、遠いところも良いですが、近い方が良いのではと言うのが、今でもそういう感想です。それは行政の方にお任せしておきます。この提言書を委員長が町長に渡して貰って私は喜んでおります。

事務局： 皆さん、ありがとうございました。委員長、何かございますか。

委員長： 皆さんが議論してきた内容を、そのまま事務局や町長にお伝えして来た事だと思います。その中で、色々指摘がありました。やはり長期的な視点で考えていく必要があるのではないかという指摘であり、5年先、10年先、あるいは10年、20年というスパンで吉野町のごみ処理を考えていかなければいけないのではないか。そうしますと、先程委員さんからもご指摘がありました。全国的に言える事ですが、人口減、それぞれの負担が重くなることもございますので、提言書にありましたとおり減量化をどんどん、どんどん進めて行かなければいけないという状況もございます。基本的にはごみ処理というのは、元々は明治時代に感染症対策として始まったもので、住民の生活を守るという側面が大きくあるわけです。住民と町が協力しながらごみ処理をやっていくというのがどうしても今後必要になってくるかと思っています。その為にも提言にも書いてありますが、住民の皆さんに適切な情報をきちんと提供して、住民の皆さんの意向を反映した、ごみ処理施策を打ち立てる必要があるのではないか、思っております。そういう意味で先程の指摘にございましたように、吉野町ごみ処理基本計画を来年の3月までに作るという事でございますので、委員さんのみならず、住民の皆さんに、きちっと情報提供して、協力を仰いでいくというのが必要かと思っています。以上でございます。

ありがとうございました。

事務局： 町長なにかご感想等があればお願いします。

町長： 委員の皆さん方から感想、また色んなお話をしていただきましてありが

とうございます。今、委員長からありましたとおり、やはり長期的な視点というのが一番大事でございます。私自身も、国の動き、また県の動きを視野に入れることが一番大事ではないかと思っております。

特に人口減というのは、この山間地域は想像以上にスピードが速い。これと同時にごみの減量化をしていくというのは、やはり今後の将来予測としては、人口とごみの排出量、これの将来予測をしっかりとしていく事が一番重要ではないか。広域化を進める上においても、環境省の方からは最低でも 100 t 以上、大規模集約化によって 24 時間稼働可能なごみ処理施設をすることによってエネルギー利用にも活用できる、そういうような指針の通知も出ております。そんな中でさくら広域環境衛生組合が進んでいますが、20 年、30 年先を見据えた時には、おそらくこのエリアの人口も想像以上に減ってくると思います。

樫原、桜井、近隣も含めて大きな意味でのごみ処理施策を進めていく事が町民の皆さん方にとっても、先ほど委員からお話もありましたように負担の軽減にも繋がるという事になってこようかと思っております。あらゆる近隣市町村との連携、また国、県との連携も含めながら進めてまいりたいと思っております。

今回でこの委員会そのものは最後になりますが、先ほど委員の皆さんからもお話がありましたとおり、しっかりと今後のごみ施策については情報提供させていただいて、その都度町民の皆さん方にも協力を仰ぐという形で共にごみ処理施策を進めてまいりたいと思っております。改めて委員長を始め委員の皆さんには感謝申し上げます。ありがとうございました。

事務局：　　ありがとうございました。本日予定しておりました議案につきましては以上であります。その他に何かございませんか。

それでは、委員長をはじめ、委員の皆さんにおかれましては、限られた時間の中で、真剣に色んな検討に議論いただきました。本日も提言いただきましたこと、誠にありがとうございます。今年度策定を予定しております吉野町のごみ処理基本計画へ反映させていただきます。

また、吉野町の持続可能な安定的なごみ処理体制の構築に努めたいと思

っています。今後とも皆様のご協力等をお願い致しまして本日の会議を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。